

日韓トンネル通信

編集/発行

特定非営利活動法人
日韓トンネル研究会本部事務局：東京都港区麻布台1-1-20
〒106-0041 麻布台ユニハウス513
TEL 03-3589-4188 FAX 03-5570-1634
E-mail office@jk-tunnel.or.jp

九州支部：0120-09-1631

【報告】新会長に野沢太三氏(工学博士) が就任しました。

東京本部の第3回総会で野沢太三顧問が新会長に選任された。



野沢太三氏(73)は1956年、東京大学工学部土木工学科を卒業後、日本国有鉄道に入社し、大阪鉄道管理局施設部長、長野鉄道

管理局長、本社施設局長を歴任。一貫して技術畑を歩んだ。1986年7月、参議院議員選挙で自由民主党公認で出馬し初当選。当選後、北海道開発政務次官を出発点に、参議院では外務委員長、決算委員長を歴任。2002年10月、参議院憲法調査会会長に就任。2003年9月22日、小泉再改造内閣で法務大臣に就任。同年11月に再任され、2004年9月27日に法務大臣を退任した。現在、自由民主党政務調査会参与、社団法人日中科学技術文化センター会長、日本モンゴル親善協会名誉会長。

当研究会では昭和62年に参与となり、昭和63年に顧問、平成17年に常任顧問に就任した。工学博士。技術士(建設部門)。

【就任挨拶】

野沢太三でございます。十数年前から顧問の立場で勉強させて戴きましたが、このたび高橋会長をはじめ、関係する皆様のご推挙をいただき、今日の総会をもちまして会長の重責を担うことに相成りました。高橋前会長は国鉄時代からはトンネル関係の仕事をご一緒した大先輩であり、研究のチームリーダーでもありましたが、これからも高橋会長には是非高い立場からのご指導ご鞭撻をよろしく願います。

私は国鉄時代を中心にトンネルをいくつか掘った経験もございしますが、昭和61年の衆参同日選挙戦で参議院に送っていただきましてから新幹線の仕事などをやって参りました。新幹線は現在、東北、北海道、北陸、九州と5線にわたって最盛期にはいっております。これを完成させた暁には次なる課題はこの日韓トンネル建設の着手であると考えております。現在、わたしは自由民主党政務調査会におきまして整備新幹線等の鉄道調査会の参与という役目を拝命しており政策提言が出来る立場におります。そこで何と申しても本トンネルが具体化するよう知恵を絞ってまいります。

超党派で結成しております日韓友好議員連盟に日韓両国から議員が参加しております。その会長の森前総理のご理解とご指導を戴き

ながら、これまで日韓議員連盟の中の21世紀委員会で韓国と日本におきまして2回ほどこの計画のご紹介をさせていただきました。また自由民主党の外交調査会で2回にわたり当会から先生方におこしいただき、この計画の概要をご説明いただきご理解いただいたこともございます。数年前に慶尚南道の知事を表敬訪問し、巨済島や対馬など現場を視察してまいりました。

この計画は昭和の初めに当時の鉄道省が弾丸列車計画の一環として策定いたしました。皆様の大変なご努力を経まして実現に向けての調査が進展していることは大変喜ばしいことと思っております。この計画が日韓の友好親善に大変重要な役割を持っていることを実感しており、日韓両国の大きな絆になるだけでなく、東アジア経済共同体などの大きな枠組みのステップにも繋がる重要課題と承知をしております。皆様方と共に勉強を重ね、計画が具体化した暁に着工できるだけの準備をしてゆかなければならないと思っております。

これまで韓国側からは、盧泰愚大統領、金大中大統領、現在の盧武鉉大統領3代の大統領が日本の国会において、この計画の実現について提案しておられます。そういった先方の働きかけに応じ、これからは日本側からもこの計画の推進メッセージを出して行かなければならない、そんな状況に今あるのではないかと思います。

これからの進め方ですが、すでにユーロトンネルが開通し、青函トンネルが供用しております。先週も私は青函トンネルの現場を視察しました。大変良好に運用されていること

から今後の日韓トンネルに対する一つの大きな実績として参考になると思います。しかもこれから新幹線を通すことになっておりますので、そのための準備もすでに始まっております。

課題は山積しておりますが問題が非常に大きいので皆様方共々知恵を絞り、この計画が前進することを祈念し、これからも皆様のご協力を得まして大事な任務を全うしたいと思っております。